

マリ共和国から留学生が来日しました!

5月24日(水)、マリ共和国からの留学生アルمام・サリフ・ドゥンビアさんが成田空港に無事、到着しました。アルمامさんは、星槎国際高校湘南バスケットボール専攻のスポーツ奨学生として活動します。

来日した日からすぐに、小田原にあるバスケットボール専攻の寮に入り、日本での生活をスタートしました。翌日には体育祭の開会式で、全校生徒を前にご挨拶をして、晴れて星槎の仲間を迎えられました。

日本語の授業も開始、世界こども財団の職員とマンツーマンで勉強に励んでいます。まずはひらがなや挨拶の練習から始まり、徐々に文法も学んでいます。アルمامさんはとても真面目な性格で、アスリートとして成長することはもちろんですが、日本語や日本文化もたくさん学びたいという希望を持って来日しました。授業だけでなく、寮でも毎日、日本語の自習をしています。

そしてもちろん、バスケットボール選手としても、2m3cmという恵まれた身長を活かして、活躍が期待されます。公式戦でのデビューに向けて、チームの仲間と練習に取り組んでいます。

世界こども財団としても、彼が日本で充実した時間を過ごせるよう、全力でサポートしていきます。そして、彼の育ったマリ共和国の文化について私たちが学び、ご紹介していきたいと思えます。

アルمامさんの今後の活躍にご期待ください!!



成田空港に到着したアルمامさん



バスケットボール専攻のチームメイトと



バスケットボールの練習風景



さっそく学校の清掃活動にも参加



制服は特注!完成が楽しみです



クラスメイトと、朝の一コマ



キッチンカー でアフリカ エリトリアの食文化を紹介



「大磯市」に出店しました

6月18日（日）、大磯町の港で月に一度開催されている「大磯市」に、エリトリア出身のFGC職員ケセテさんのメニューで、エリトリア風カレーの提供を行いました。

世界子ども財団ではこれまでも、星槎国際高校八王子学習センターの「キッチンカーゼミ」とコラボしてブータン料理を提供する取り組みなどを行ってきました。また、昨年2022年には、箱根町の幼稚園のこどもたちや、星槎国際高校浜松学習センターの文化祭や授業等でもこのカレーの紹介を行ってきましたが、今回は私たちの地元である大磯で、初めての大きなイベント「大磯市」に出

店ということで、何日もかけて準備をして臨みました。

このカレーは、ケセテさんがエリトリアの味をもとに、日本の人にも食べやすいよう工夫してつくったオリジナルのカレーです。当日は多くの人に足を運んでいただき、カレーを味わっていただきました。

エリトリアってなに？ケセテって誰？ということに関心を持ってくださる方も多く、その度にFGCのスタッフがエリトリアと世界子ども財団の活動を紹介しました。私たちの活動の大切な要素である文化交流の面でも、有意義な1日となりました。



「グローバルプロジェクトゼミ」がはじまりました

カレーづくりでも大活躍のケセテさんですが、5月から星槎国際高校の立川、横浜鴨居、八王子の各学習センター共通で実施している「グローバルプロジェクトゼミ」の授業を担当し、前期は横浜鴨居学習センターで授業を行なっています。グローバルプロジェクトゼミでは星槎と深い繋がりのあるエリトリア国、ブータン王国、アメリカ合衆国出身の職員が、リレー形式で授業を担当します。世界の「今」を学び、語学力や多文化を理解する力を育てることを目的としています。



FGC職員
ケセテより

エリトリアのことだけでなく、「アフリカ=ひとつの国の名前」だと思っているような、アフリカについて全然知らないこども達が多いようです。このような授業を通して、生徒たちがエリト

リアやアフリカの歴史や文化について知識を持ち、理解した上で、次の世代がより良い関係を築ききっかけづくりをしたい、そして、日本に来て学んだことを、次の世代に繋いでいきたいです。



卒業生ソナムさんが ブータン王国代表として国際大会に出場しました

星槎国際高校湘南アーチェリー専攻のスポーツ奨学生として2018年に来日し、2021年3月に卒業したブータン王国のソナム チョデンさんが6月5日～10日にかけてシンガポールで開催された「アジアカップ ステージ3」にブータン代表として参戦しました。

本大会は、ソナムさんにとって初めて尽くしの大会でした。ブータン帰国後“初めて”の公式大会、“初めて”の国際大会、“初めて”自身の実力で出場権を勝ち取って出場した大会でした。

試合結果は、個人予選ラウンドで合計609点・39位、決勝ラウンドは1回戦をシードでクリアしましたが、2回戦を台湾代表の選手と戦って4－6で敗退、ベスト32となりました。

ソナムさんは星槎での3年間、競技にも勉強にも一生懸命取り組み、卒業後は母国ブータンに戻り、アーチェリーに情熱を注ぎながら結果を残してきました。来日当初は、腕立て伏せも走ることもままならなかった彼女が、



ソナムさん（写真後列中央）とアーチェリー・ブータン代表チーム

今やブータン代表として母国の威信をかけて世界と戦う存在に成長しました。

今後もソナムさんの活躍にぜひ、ご声援をお願いいたします。



エリトリア留学生ビニウムさん 大学での活動ご報告

この3月に星槎国際高校湘南を卒業したエリトリア留学生のビニウムさんは、武蔵野学院大学のスポーツ特待生として引き続き、日本で勉強と陸上競技に励んでいます。

6月8日（木）、入学から2カ月が経過したこともあり、様子を見に武蔵野学院大学を訪問してきました。ビニウムさんは周囲のサポートのおかげですっかり大学の寮での生活にも馴染み、前回会った時よりも日本語も上達していました。自室で作ったカレーを、チームメイトにも振る舞っているそうで、FGCの職員も彼の部屋でカレーをご馳走になりました。

陸上競技の面では、6月10日（土）に日本体育大学の記録回に出場、5000mで14分02と、自己ベスト更新とはいきませんでした。それに近い成績で、順調にトレーニングを積んでいます。

星槎を巣立ったビニウムさんですが、これからも彼の活躍を応援し、できる限りサポートしていきたいと思えます。



自作のカレーを振る舞うビニウムさん



駐日トルコ大使館へ震災復興のための寄付金をお届けしました

FGC ニュース No.33 でもお伝えしましたが、世界子ども財団では、トルコ・シリア大震災復興支援のための寄付金募集を行ってきました。6月30日（金）に、東京の駐日トルコ共和国大使館を訪問し、集まった寄附金 102,000 円の目録をお渡ししてきました。

大使館では一等書記官のエスラ・オズベクさんが迎えてくださり、FGC 職員のケセテさんより贈呈しました。エスラさんからは、「子どもたちを含め、星様のみなさんが寄附を集めてくださったことは私たちにとってとても大きな意味のあることです。暖かいお気持ちに感謝します。いただいた寄附金は、トルコ本国の災害緊急事態対策庁に直接届き、現地の人たちのために使われます。皆様によりよくお伝えください」とのお言葉をいただきました。

世界子ども財団や星様グループ、そして SEISA Africa Asia Bridge (SAAB) の活動もご紹介し、関心を持って



駐日トルコ共和国大使館一等書記官のエスラさん（右）と FGC 職員ケセテ（左）

いただきました。今回の寄付金募集にご協力をいただいた皆様に感謝申し上げます。

誠にありがとうございました。

大熊町の子どもたちに寄贈品の第 1 弾を届けました

星様グループと世界子ども財団では、東日本大震災発生以降、継続的に被災地の子どもたちへの支援を行ってきました。その中心的な役割をしてきた星様グループの職員が「一般社団法人 Dream Forest Supporters」を設立、福島県大熊町^{おおくままち}の学童保育の運営を担い、活動を開始しました。

大熊町は福島県浜通りに位置し、2011 年東日本大震災と原子力災害により、全町避難を経験しました。2019 年に一部避難指示解除され、2022 年には中心地区の避難指示も解除されました。大きな転換期を迎える町では今年 4 月、12 年ぶりに学校が再開し、子どもたちの元気な声が帰ってきました。

世界子ども財団としてもぜひこの活動に協力したく、学童の現場で不足している遊具やおもちゃ等の寄贈募集を開始することといたしました。

6 月 3 日（土）に大熊町でイベントがあり、星様グ



大熊町の子どもたちへの寄贈品を手渡し

ループの職員も参加すると聞き、それではということで世界子ども財団の職員も同行して、寄贈品の第 1 弾を届けてきました。

募集を始めてまもないにもかかわらず、さっそく多くの方にご協力をいただき、集まったおもちゃや本、スポーツ用品など約 30 点を、子どもたちに届けることができました。

当日大熊町では「花とキウイと馬」というイベントが開催され、町の特産品だったキウイフルーツ再生へ向けての作業と、地域のシンボルである馬との交流、そして地域の交流拠点「クマプレ」に花を植える作業などに、町の内外の多くの方がともに汗を流して楽しく取り組んでいました。

大熊町への寄贈品募集は引き続き行っていきますので、よろしくお願いいたします。



「花とキウイと馬」イベントの様子



2023 年 7 月発行

公益財団法人
世界子ども財団

〒 259-0111 神奈川県中郡大磯町国府本郷 1805-2 (星様グループ内)
TEL. 0463-74-5359 FAX. 0463-74-5374 E-mail: fgc@fgc.or.jp
ホームページ: <http://www.fgc.or.jp> Facebook: 「世界子ども財団」で検索!
印刷: 株式会社 Kurikindi Design 制作: 岡村直実 (JC ユニット)

